

令和7年度第2回大府市ふれ愛サポートセンター運営委員会議事録(要点記録)

開催日時:令和8年2月4日(水) 14時~15時

開催場所:大府市ふれ愛サポートセンター 会議室

出席者

所属等	氏名
有料老人ホームさわやかなの丘 施設長	なか たかゆき 中 隆之
大府福祉会あけび苑 施設長	こじま やすあき 小島 康明
大府市民生児童委員協議会 副会長	くつな りつこ 杵名 律子
大府リフレッシュクラブ	あさだ じゅんこ 浅田 淳子
大府中学校 校長	もりた しんや 森田 慎也
公募委員	にしわき なおみ 西脇 直美

事務局

所属等	氏名
福祉部 福祉部長	いかい けんすけ 猪飼 健祐
福祉部 福祉まるごと相談室 室長	なかもと まこと 中本 真
福祉まるごと相談室 ふれ愛サポートセンター 館長	おお こうち ただし 大河内 憲
// 主任	かねとう だいすけ 兼任 大輔

傍聴人 なし

1 あいさつ

選挙が短期間での投票ということで、各党の訴えが聞こえてきます。介護保険に関わる施設の長として、消費税と社会保障費のことを気にしております。社会保障費の減額を目指していることはわかりますが、消費税の投入先に社会保障費も入っているわけであり、消費税減税を行うことで社会保障費の減額となっていくのか。健康寿命の延伸を行うことで社会保障費の減額を誘導し、消費税の減税となるのは分かります。施設内でも健康寿命延伸のために健康体操を行う、また健康マージャンも行っています。高齢の方でも健康マージャンに熱中し4時間行っている方もいらっしゃいました。そういった取り組みを行っていくために、スピカの「場を提供できる機能」を持っていることは大切なことだと思います。どういう団体に広げて、どう展開していくのか。どのように工夫して行っていくのか、皆様からご意見を伺い出来たら良いと思います。よろしくお願い致します。

2 自己紹介

名簿の順番にて、自己紹介実施

3 議題

(1)利用登録団体の申請、審査結果について

事務局より説明。

・質問なし

(2)令和7年度の利用状況について

事務局より説明

(質疑応答)

事務局)参考のために事務局側へ確認の質問をします。大府市は幸齢者を目指しており、誰もが行く道であることを認識いただき、幸せに齢を重ねていただきたいと考えています。60歳の方は高齢者として取り扱われたいと思いますが、60歳の方を対象に行っていく団体の場合は、高齢者団体として登録されるのか。

⇒事務局)高齢者団体として登録されるのは、高齢者のために何かしらの活動を行う団体であり、60歳の方が運営する団体として登録いただくことは可能です。幸齢者になるために活動を行う場合には「高齢者団体」として登録できるのではないかと事務局としては考えています。

事務局)「高齢者団体」というのは、『65歳以上の方のみで構成される団体でなければ、登録・利

用できない。』というのは誤解であることが、今の説明のとおり、わかっていたかと思えます。対象者を明確にし、活動内容を示していただければ60歳の方で構成された団体も登録、利用ができることとなります。もう一点質問させていただきます。健康マージャンの団体立ち上げ、登録し活動を行うこととなった場合、「その他」として登録されるのでしょうか。

⇒事務局)健康マージャンがイベント開催し活動した場合は、イベントに活動内容が計上となり得ますが、現時点では「その他」に計上されると思われまます。令和6年途中から活動内容をカテゴライズし、把握に努めています。会議、スポーツ、研修を含めた主だった活動内容に当てはまらなければ、使用できないわけではありません。

事務局)団体登録が必要となりますが、幅広く活動できる場の提供が可能な施設として、認識いただければ、スピカの利用率も変化してくると思われまます。

委員)音楽活動は、頭、手、目を使う活動となりますが、利用した場合はどう分類されるのでしょうか。

⇒事務局)音楽活動を主にされている団体は、登録されていないのが現状です。スポーツ活動中に音を出されて、体操されている団体はいらっしゃいます。施設自体が防音を施していないため、出される音によっては、活動自体が難しいことも考えられます。多目的1~3をパーティションで仕切ることで音を軽減するという方法も考えられます。

⇒事務局)団体としてどのような目的を持って、登録いただけるかが大切となってきます。スピカの目的と合致していれば、登録団体として認められ、利用は可能となってきます。

⇒事務局)音楽活動に対して慎重な発言となるのは、他の業務との兼ね合いもあります。団体の活動の場を提供するのみではなく、スピカには相談機能という側面もあるため、デリケートな内容の相談中に、一方ではにぎやかな音楽が行われることを気になされる方もいらっしゃるため、慎重に考える必要があると思われまます。

⇒委員)機能的なことを考えれば貸館でのレクリエーションという場面と相談のバランスが難しいことが把握できたと思われまます。利用団体の高齢者団体、障がい者団体とのバランスが悪いなどの苦情が出されている様子はありませんか。

⇒事務局)現在のところ聞こえてきては、いません。

委員)稼働率が100%となっていれば、利用状況が限界に来ており、施設設備への対応を議論する必要が出てきますが、適正な利用状況が続いていると思われまます。質問としては、「長期欠席者事例検討会」が開催されていますが、目的別利用回数へどのように振り分けられているのか確認を行いたいと思われまます。

⇒事務局)会議、研修へ振り分けがなされています。団体の活動が、同じ内容で行っていても違う振り分けになってしまっていることが、集計の課題として感じておられまます。実績の一貫性は必要であると思われまます。

(3)施設整備等の実績及び予定について

事務局より説明

委員)この施設は、災害時の避難所として指定されていますか。

⇒事務局)登録はされていません。災害ボランティアセンターの拠点の候補として、選ばれております。毎年ボランティアセンターの立ち上げ訓練をスピカで大府市社会福祉協議会が実施しております。

⇒事務局)隣の石ヶ瀬会館が支部とのため、スピカに災害ボランティアセンターを設置することで連携を迅速に行うための拠点候補として考えられていると思われます。

委員)消防訓練は、どのような規模で行っているのか教えていただきたい。実施は年1回でしょうか。

⇒事務局)自衛消防訓練は、年2回実施しております。3月に実施する訓練は、発災から想定し、消防署への通報、当日利用している団体とともに屋外への避難及び避難誘導を行い、外で消防署から借りてきた水消火器を使用し消火活動の訓練を実施する予定です。

委員)避難訓練も地域を念頭において行うことが大切になってきていると思います。近隣の施設と、合同で行うことは検討されていないでしょうか。

⇒事務局)現在のところ、法定の訓練として行っており、利用者以外と行う訓練しか具体的に出ておりませんが、隣の敷地である「おひさま」も発災時は無関係ではおられませんので、合同で行うことも前向きに相談しながら検討を行っていければと思います。

委員)多目的ルーム1～3の利用率と認識は高いと思いますが、多目的ルーム4に親しみを込めて別の名称を付けることも検討いただけるとよいかと考えました。例えば「ひなたの間」、「なごみルーム」などの通称をつけていただくのはどうかと考えました。

⇒事務局)多目的ルーム1～4については、別名称がありますが認知度は低いことは把握しております。この後、施設内をめぐりますのでご確認いただければと思います。多目的ルーム4については、多目的ルーム1～3と規模等に違いがあるため、通称として親しまれることも大切であるのご意見いただいたうえで思いました。

⇒事務局)利用者を含めて公募することもあると思われます。

⇒事務局)親しみが沸くという観点からも良い提案をいただいたと思います。

委員)団体があると維持を団体が行ってくれますが、つながりがないと広がりは難しくなってきます。そのためには仕組みを作っていくことが大切で、団体が仕組みに乗ってくることで発展性が上がってきます。

4 報告

(1)ふれ愛サポートセンター内避難経路について

事務局からの説明)施設の防災状況を確認いただくことも大切ですが、施設全体の状況、修繕箇所などの視点から見ていただき、よりよい施設への意見を頂戴したいと思います。

(10分程度避難経路図に沿って、館内を見学)

(多目的ルーム1～4の部屋名について確認。各相談機関の配置について確認。)

事務局)多目的ルーム4の場所への案内する矢印などの配置検討を。

委員)利用団体の思いとしては、支えてくれている方々や大府市のおかげと思っています。何よりも会場費が減免されるということは大切なことで、他の施設にはそれぞれの用途があるため仕方ありませんが、非常に感激しております。

(注釈:施設利用費が減免される場合は、施設の登録団体であり、利用当日の利用者の半数以上が市内在住・在勤の場合となります。)

事務局)ご利用の際に駐車できないなど、不便はありませんか。

⇒委員)駐車の際にそういったことはありませんでした。

次回 R8 年6月～8月に来年度の開催を予定しております。